

岐阜県安全・安心まちづくり懇談会【議事概要】

- 日 時：令和5年7月25日（火曜日）
午前10時00分から 午前11時40分まで
- 場 所：岐阜県議会棟1階 第1会議室①
- 議 題：「岐阜県犯罪のない安全・安心まちづくり条例」に基づく行動計画について

《議事概要》

- ・「岐阜県犯罪のない安全・安心まちづくり条例」に基づく行動計画について

【事務局】

- ※岐阜県犯罪のない安全・安心まちづくり行動計画 令和5年度（案）について説明

【委員の意見】

○地域安全マップについて

- ・子ども目線での地域安全マップを作成する活動をしている。警察など関係機関と情報を共有することで事故防止に繋がることも期待できるので、こういった活動を周知・促進して欲しい。

○県内在住外国人に対する取り組みについて

- ・外国人就労者が増えてきており、外国人の子どももヤングケアラーに該当するケースがあるので、ヤングケアラーに関する県の新たな取り組みなどの情報が外国人の方にも届くようにしてほしい。
- ・同様に、ヘルメットの着用が努力義務化された件について、子どもは学校などで説明を聞く機会もあると思うが、親は日本語を話せず、そういった施策を認識していないことがあるので、外国人へも啓発していく必要があると思う。
- ・例えば日本語教室などで交通安全教室や自転車シュミレーター体験などを行うのもいいのではないか。
- ・自転車事故では人や物への損害賠償などもあり得るため、自転車保険のこともきちんと周知していくことが必要と思う。

○学校の統廃合等に対する見守りについて

- ・地域コミュニティの希薄化が深刻な時代になっている。地域の中で人の目線が減り、空き屋を狙った犯罪が頻発しており対策を考えている。また、小学校の統廃合で徒歩からバス通学へ変わる場合の見守りの仕方についても検討しているところ。
- ・統廃合に関する子どもの見守りについては学校（学校運営協議会）と地域（地域学校協働本部）が連携を取ることが大事だと思う。学校が何を求めるのか、地域は何ができるのか、話をしていくことが一番大事だと思う。

○闇バイトについて

- ・闇バイトの問題について、行動計画の中にも触れた方がいいのではないか。
- ・犯罪の手法も時代とともに変化しており、子ども達が気が付かず騙されていってしまうことも懸念されるので、啓発を十分にしていける必要がある。

○引きこもりについて

- ・引きこもりの方が増えており、地域で見守りながら取り組んでいきたいと思っている。
- ・地域コミュニティの希薄化という問題の中で、引きこもりも含め、県民のみなさんが地域の中でどうやって安全・安心に暮らしていけるかという観点で、地域コミュニティの醸成に努めていくことが必要。
- ・引きこもりの年齢層も上がっているので、子ども以外の引きこもりの方に対する対応や支援体制が必要ではないかと思う。

○警察等との連携について

- ・地域の人には知っていて、警察が知らないということもあり得るので、警察含め関係機関が顔を合わせて話ができるようなネットワーク作りができるといい。

○地域を見守る体制の継続について

- ・子どもに対する見守り活動に取り組んできたが、それを継続していくことが重要。継続することで地域との信頼関係が築かれ、子どもだけでなく高齢者など大人も含めた地域全体の見守りに繋がっていく。
- ・ボランティアに関心のある方はいると思うので、そういった方に対して支援していくという姿勢を遅れることなく示していくことが大事であり、今一番不足している部分にも思う。担い手不足と言われているが、そうではなく、支援者を支援していく仕組みを見える形で行っていけば、活動に参加いただける方は多くいるという認識を持って取り組んでいくことも大切と思う。
- ・民生委員の活動は非常に大変であり、同じ地域を見守るという立場から活動をシェアして助け合ったり、行政や警察がそういった課題に対し何ができるか考えるなど、今日のような機会を通してそれぞれの取り組みがさらに進んでいくと良いと思う。